

事業所名

スマイルキッズステーションきらきら

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

2025年

1月

20日

法人(事業所)理念	1. 「いつまでも住み慣れた自宅での生活を」という基本理念のもとに、利用者の方々の個性や今までの生活感を尊重し、生きがいを持って有意義に生活して頂くようサポートにつとめる。 2. 地域との関わりを持ちながら社会参加を促進する。 3. リハビリテーションを提供することで心身ともに元気に。 4. 家でも、どこでも、いつでも、えがおで					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> こどもたちの特性を適切に把握し、その能力を最大限にいかせるように支援します。 こどもたちの思いに寄り添い、地域で安心して笑顔で過ごせるように支援を行います。 					
営業時間	8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態や生活リズムの確認を行い、必要に応じて対応します。 食事、排泄、衣類の着脱など、基本的な生活動作の向上を支援します。 生活の中での課題をご家族から伺い個別支援として取り組みます。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できる遊びを通して支援をします。 日常に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援を行います。 リズムあそび、粗大・微細運動、ボディイメージへの支援を行います。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知や行動の手がかりとなる形、色、大小などが習得できるよう支援をします。 朝の会で、日付けを確認し数の概念の習得を図ります。 視覚、聴覚、感覚等を十分活用し必要な情報を収集して認知機能の発達を促すための活動を取り入れます。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや活動を通し、事物と言葉のマッチングができるように支援をします。 発達段階に対応したコミュニケーション手段を通して、集団・個別活動の中で意思の伝達ができる機会を積み重ねていけるように支援をします。 ひらがな、数字などの基盤的な文字への興味を上げることができるよう支援をします。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人と関係を築き周囲の人と安定した関係を形成できるように支援をします。 職員がモデルケースとなり他者交流の経験を積むことができるように支援をします。 小集団活動を通して集団に参加するための手順やルールを理解できるように支援をします。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳、送迎時やソーシャルネットワークなどで随時情報共有します。 家族からの相談や悩みについて必要に応じて面談を行い、相談援助を行います。 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 園や就学予定の学校と情報共有を行います。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校、福祉サービス等と連携し情報共有をします。 関係機関に様子を報告するなど情報共有し密な連携を図ります。 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 新人職員研修 法定研修(虐待防止、ハラスメント、感染予防、緊急時対応等) 外部研修、内部研修(避難訓練、SST、強度行動障害、摂食指導等) ケース検討会 		
主な行事等	季節に合わせた製作、体験など(お正月遊び、節分、ひな祭り、こどもの日製作、お散歩、ハロウィン、クリスマスなど)					